



太陽の子保育園 平成28年8月号

## 8月の園だより

畑のトウモロコシは空に向かってぐんぐん大きく育っています。そんな元気なトウモロコシに負けじと、夏真っ盛りの子もたち…暑さに負けず、元気いっぱいプール遊びや水遊びなどを楽しんでいます。園では一人一人の体調管理を十分行い、水分補給や休息に配慮しながら夏ならではのあそびを存分に楽しんでいきたいと思っています。

8月はレジャーや旅行、お盆など、ご家族でゆっくり過ごす時間が増えると思いますが、体調には十分に気を付けて楽しい時間をお過ごしください。

### 敬老の日はがき追加について



保育園では毎年敬老の日に合わせ子どもたちから「おじいちゃん・おばあちゃん」にはがきを送っています。はがきは子ども1名につき1枚まで園で用意します。さらにはがきを追加したい方は、実費負担(1枚52円)で3枚まで(合計4枚)追加可能です。ご希望の方は集金袋にてお申し込み下さい。なおお申し込み締切は8/5(金)までです。

## 子どもの日焼けに注意!!

あわてる前の基礎知識

日焼けは肌のやけどですから、できる限り予防しましょう



### 日焼けの症状と対処法は

やけどなので、基本はまず冷やすこと。水につけるか、濡れタオルなどで包んで扇風機を当てます。水泡ができたときは、つぶさないように気をつけて。広い範囲に水泡ができていたり、熱があったり、ショック症状が起きていたら、すぐに病院へ連れていきましょう。

### 日焼けを予防するには

1歳未満の赤ちゃんは皮膚が薄く日焼けが重症化しやすいので、夏の直射日光には当てないこと。例えばビーチに行くのは避けてください。その後も3歳までは日焼けや熱中症に厳重警戒が必要。アウトドアでは日陰を確保して適宜休ませ、帽子や服でできるだけ皮膚を覆います。日焼け止めは、肌の相性を確かめてから使うこと。少量を腕の内側につけて1日様子を見て、かぶれなければ大丈夫です。

### ただし、過剰な反応は禁物です!!

紫外線を浴びすぎると、さまざまな悪影響があるのは現実で、紫外線を浴びすぎないように対策をとることは重要です。しかし、紫外線の健康影響について過剰に反応しすぎてしまうと異なる面で大きな悪影響が出てしまいます。正しい知識をもって行動すれば、紫外線は決して恐ろしいものではありませんので、浴びすぎないこと(浴びないことではなく)に注意してもらえればと思います。



- 2(火) 避難訓練
- 3(水) 0歳児健診
- 4(木) 音楽指導(幼児)
- 5(金) 夏を楽しむ会
- 22~26 身体測定
- 25(木) 職員園内研修
- 26(金) 体育指導(幼児)
- 30(火) お誕生日会
- 31(水) プール納め(予定)



- 1(木) 防災集会・引渡訓練
- 6(火) トイレ指導(幼児)
- 7(水) 音楽指導(幼児)
- 12~16 身体測定
- 13(火) 体育指導(幼児)
- 15(木) 調理保育(らいおん)
- 16(金) 敬老の日会
- 21(水) 交通安全教室
- 23(金) 職員会議
- 23(金) お誕生日会
- 28(水) 運動会総練

# 1・2・3歳は強情っぱり!?

1歳を過ぎると始まる「イヤ!」「イヤ!」の連発。その上、2歳ごろから自分の思い通りにならないと泣きわめき、「んもう、いいかげんにして!!」と言いたいママは多いはず。……これってどうすればいいんでしょう?

高山静子著「ひだまり通信(チャイルド本社)」より

## 子どもが納得しやすい言葉の例

1歳半から3歳ごろの子どもは、「〇〇しなさい!」という命令口調が大の苦手。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。

<p>気持ちに共感する 〇〇したかったのね。</p>	<p>思いを伝える お母さんは〇〇がしたいの。</p>	<p>物の気持ちを伝える クマさんは〇〇だって。</p>	<p>選ばせる 〇と〇どっちにする?</p>	<p>尊重する 〇〇をお願いね。</p>
<p>理由を伝える 〇〇だから〇〇しようね。</p>	<p>見通しをもたせる 〇〇したら〇〇しようね。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>スカートさん、まっ黒けて気持ち悪いって。きれいにしてあげよう。</p> <p>これがいい〜。</p> <p>いっぱい歩くと、お父さんみたいに足が大きく強くなるよ。</p> <p>だっこ〜。</p> </div>		

## 大泣き・ひっくり返りが始まったら……

もうしかたない……しばらく泣かせて、ころ合いを見計らって「もう、おしまい」とか「さあいこうか」と気持ちの立て直しを図るしかないでしょう……。ふー。母は強くなるはずです。

泣いてもだめよ

お母さんのバカうわ〜ん

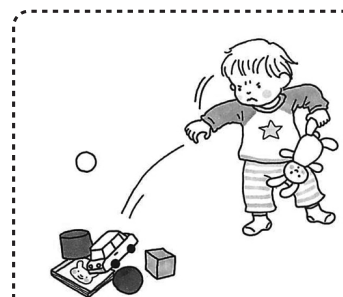
さあ いこうか

そろそろいいかな……

しばらく泣かせておきましょう。

ころ合いを見計らって……

気持ちを立て直しましょう。



どんな子だって1歳~3歳ごろは強情っぱりであたりまえ。歩く前にはハイハイや尻もちをするように、強情、イヤイヤは子どもが自分をつくるためにどうしても通らなくてはならない道なのです。

やがて、言葉での表現力、見通しをもつ力、状況の理解力などが育ってくると、強情っぱりは自然に消滅していきます。

**お知らせ**

玄関左側と外階段手前の2箇所「屋外掲示板」を設置しました。この掲示板はともに、これまで玄関などに掲示していた、在園保護者の方向けの掲示物を貼らせていただきます(道路に面した掲示板は子育て支援)。登降園の際にはご覧いただきますようお願いいたします。